

シニア教員でもできる ICT 活用

作成者 辻 良一

シニア教員が増える中、私は、ICT が苦手と考えている方もおられると思う。私もその一人であるが、以下の方法でサンホセ校と遠隔合同授業（間接授業）を実施した。

- 1 グーグルのチャット機能を使い、相手校の先生と授業の進度具合をたずねる。
- 2 その結果、お互いの進度や時間割の調整が難しいことが判明し、間接合同授業で実施することにする。
- 3 単元は、中学2年 英語 New Horizon 2 Unit 4 の学習の中で、お互いのハウスルールについて、意見交換をしようと決める。
- 4 まず、教員が例を示し、発表の仕方について指導する。
- 5 本校生徒が画用紙に自分の家のハウスルールについて、画用紙に書いたルール（文字）を見せながら、ZOOM 授業で説明する。
- 6 教員は、自分の生徒たちに示した例と生徒達の発表を ZOOM の録画機能を使って録画する。
- 7 録画映像をサンホセ校と共有しているグーグルドライブのホルダーに入れておく。
- 8 チャットで、相手校に動画を入れたことを伝える。
- 9 相手校は、自校の都合に合わせて、その動画を見て、本校生徒のハウスルールについて、各自がコメントを記入する。



10 コメント記入が終わった時にチャットを通じて、本校に知らせが届く。

11 本校の都合に合わせて、生徒が登校して来た時（分散登校のため、毎日登校していない）に、液晶モニターに相手校のコメントを写しながら、クラス内で意見交換を行った。

成果：自校内の4人だけでは、お互いの意見交換は、限られているので、サンホセ校と交流することにより、新たな観点からコメントをしてもらい、お互いの考えが深まり、生徒の英語表現への意欲向上につながったものと確信している。